

研究課題名	人工知能(AI)を活用した画像診断技術の改善及び医療現場における診断支援に関する研究
研究の意義・目的	<p>医用画像診断装置の進歩に伴い、診断に使用される画像は飛躍的に増加しており、一日当たりの検査件数も増加しています。そのため、医師は膨大な画像を読影する必要が生じており、大きな負担となっています。また、負担の大きい作業を長時間続けることにより見落としのリスクが生じています。医師の負担を軽減し、また診断の質を向上させる手段として、コンピュータ支援検出/診断(computer aided diagnosis: CAD)の利用が挙げられます。CADは、画像上にある病変の存在位置をコンピュータが検出し医師に提示するものであり、医師の画像診断を支援するものです。</p> <p>一方、深層学習をはじめとした近年のAI技術の進展は、医療画像解析の世界にも及び、AI技術を活用したCADの開発が進められています。</p> <p>この研究の一部には、エルピクセル株式会社が構築するAI技術を活用とした画像診断支援ソフトウェアを用い、脳動脈瘤や肺癌等に対する医用画像の解析技術を改善し、医療における診断精度を向上する目的が含まれます。</p>
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後～2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	<p>1. 2007年から2021年12月に大阪公立大学医学部附属病院で、肺癌診断・治療のため受診された方が対象となります。</p> <p>2. 2007年から2021年12月に大阪公立大学医学部附属病院で、脳動脈瘤診断・治療のため受診された方が対象となります。</p>
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【診断名、年齢、性別、X線/CT画像/MR画像】</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	<p>機関の名称：公立大学法人大阪 大阪公立大学</p> <p>機関の長の氏名：理事長 福島伸一</p>
提供する試料・情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	<p>研究責任者</p> <p>氏名：山本 晃</p> <p>研究機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学</p>
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学とエルピクセル株式会社で行います。

	代表機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 研究責任者 山本 晃 共同研究機関：エルピクセル株式会社 代表取締役 鎌田 富久
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	代表機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 共同研究機関：エルピクセル株式会社
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究は、エルピクセル株式会社より研究資金の提供を受け実施しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 植田 大樹 電話番号：06-6645-3831 メールアドレス： ai.labo.ocu@gmail.com